

JTU 指導者養成講習会は、トライアスロンの未経験者～中級者を対象として、競技を安全かつ正しく指導するための知識を学ぶ講習会です。この講習会のカリキュラムは、(公財)日本スポーツ協会(以下、JSPO)トライアスロンコーチ1の専門科目に該当します。なお、JSPO トライアスロンコーチ1の資格取得には、JTU 指導者養成講習会およびJSPO 共通科目Iの修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日や祝日を利用した2日間。  
全国各地で開催。(JTUのHPで発表)

2. 受講資格 受講年度4月1日現在18歳以上のJTU登録者で、次の①～⑦のいずれかに該当する者。なお、資格取得後も継続してJTU登録会員であること。

|   |   |
|---|---|
| ① | トライアスロン大会の完走記録保持者。過去に完走したスタンダードディスタンスの大会(51.5km)で、参加当時の年齢を基準とする。<br>30歳以下(男子:2時間30分以内、女子:2時間45分以内)<br>31～40歳(男子:2時間45分以内、女子:3時間00分以内)<br>41～50歳(男子:3時間00分以内、女子:3時間15分以内)<br>51～60歳(男子:3時間15分以内、女子:3時間30分以内)<br>61歳以上(男子:完走、女子:完走) |
| ② | ロングディスタンスタイプの場合は、上記①を基準に指導者養成委員会が認めた者。  |
| ③ | 上記記録に相当するスイム、バイク、ランの記録保持者及び3種目のいずれか2種目以上の指導者資格保持者。  |
| ④ | スイム、バイク、ランのいずれかの個別種目の指導経験がある者。  |
| ⑤ | JTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会、JTU トライアスロン研究会に参加した者。  |
| ⑥ | JTU 加盟団体の推薦を受け、JTU 指導者養成委員会が認めた者。<br>(加盟団体の推薦を受け、推薦理由を記載した推薦書を提出する)   |
| ⑦ | JTU 指導者養成委員会が認めた者。(上記①～⑥のいずれにも該当しないが、受講を希望する者は、その理由と略歴等をA4用紙1枚程度の文章にまとめて提出する)   |

3. 受講料 17,000円(施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)

4. カリキュラム

| 科目            | 時間          |
|---------------|-------------|
| スイム講義         | 1           |
| スイム実技         | 1.5         |
| バイク講義         | 1           |
| バイク・トランジション実技 | 1.5         |
| ラン講義          | 1           |
| ラン実技          | 1.5         |
| 指導者の心得・競技の歴史  | 1.5         |
| 基礎理論          | 1.5         |
| 競技ルール         | 1.5         |
| バイクメンテナンス     | 1.5         |
| コンディショニング実技   | 1.5         |
| レポート提出        | 5           |
| <b>合計</b>     | <b>20時間</b> |

(別途、筆記試験有)

5. 登録料 5,000円(別途、システム利用手数料が必要)

6. 講習会受講の手順

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ①JTUのHPにて講習会募集要項発表 | ⑤指導者登録システムへの登録、登録料納入 |
| ②受講申し込み及び受講料納入     | 及びレポート提出             |
| ③講習会受講             | ⑥修了証発行(PDF)          |
| ④講習会修了認定及びJTU理事承認  | 以上                   |

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者  
＜資格移行の手引き＞

更新：2020年4月1日

1. 初級指導者

(1) 18時間の講習会（2006年以降）を受講済みの場合

研修会（3時間以上）を受講することで、日本スポーツ協会（以下、JSPO）トライアスロンコーチ1の専門科目修了と認定し、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を発行する。

【対象となる研修会】

- ①JTU コーチングシンポジウム
- ②JTU 指導資格者研修会
- ③JTU 主催のトライアスロンに係る研究・発表会
- ④JSPO 主催の研修会
- ⑤都道府県体育協会（またはスポーツ協会）主催の研修会
- ⑥その他の団体が実施する研修会
  - a. 日本障がい者スポーツ協会が主催する研修会
  - b. 健康・体力づくり事業財団が実施する（認める）認定講習会
  - c. 一次救命処置（BLS）講習
    - \*赤十字救急法基礎講習
    - \*赤十字救急法救急員養成講習
    - \*赤十字短期講習会（但し、3時間以上のもの）
    - \*消防庁（署）普通救命講習
    - \*消防庁（署）上級救命講習
    - \*消防庁（署）応急手当普及員・指導員

【研修会受講実績の有効範囲】

講習会を受講して、資格を取得した後（または直近で更新した後）とする。

例. 2019年度に初級講習会を受講した場合

正式に資格が認定されるのは2020年4月1日のため、これ以降の研修会を有効とする。

2019年度初級受講→2020年4月1日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2018年度初級受講→2019年4月1日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2017年度初級受講→2018年4月1日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2016年度初級受講→2017年4月1日初級認定→これ以降の研修会を有効とする。

2019年4月1日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2018年4月1日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2017年4月1日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

2016年4月1日付けで初級更新→これ以降の研修会を有効とする。

【受講証明書の提出】

- ・JTU 主催の研修会（①②③）

提出は不要。JTU 指導者養成委員会が受講履歴を確認する。

- ・JTU 以外の団体が主催する研修会（④⑤⑥）

提出が必要。指導者登録システムにて、PDF（例. スキャナーで取り込む）または JPG（例. スマホやデジカメで撮影）をアップロードする。

(2) 9時間の講習会（2005年以前）を受講済みの場合

シート1の新カリキュラムの講習会（集合講習15時間）を受講する。但し、レポート作成（5時間）は免除。また、研修会の受講も不要。講習会を修了次第、JSPO トライアスロンコーチ1の専門科目修了と認定し、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を発行する。

2. 中級指導者

全員、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」に移行する。中級資格証は、期限内であれば有効。JSPO トライアスロンコーチ1の取得申請をする際はJSPO に中級資格証を提出するが、有効期限内であれば受理される。期限が切れた場合は移行申請を行い、「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証を取得すること。

3. 移行申請

(1) 対象：初級／有効期間内／研修会受講済み

初級／更新対象者／研修会受講済み

初級／再交付希望者／研修会受講済み

中級／全員（更新・再交付）

(2) 指導者登録システムにて申請手続きを行う。

(3) 登録料：なし（但し、システム利用手数料が必要）

有効期間：なし

(4) 申請後、JTU が確認作業を行う。（約1週間）

(5) 上記システムの「申込確認」から、各自で「日本トライアスロン連合専門科目修了者」の修了証（PDF）をダウンロードする。なお、指導者登録システムの稼働は年度毎のため、申請の翌年度以降に修了証の再発行を希望する場合は、再度システム利用手数料が必要。

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 初級指導者  
＜資格更新の手引き＞

更新：2020年4月1日

1. 更新のお知らせ

毎年、年度末（1～3月頃）に該当者へメールで配信。メールアドレスを変更した場合は、JTU事務局及び指導者養成委員会に連絡をすること。（詳細はファイル「8」を参照）

2. 更新の手続き

(1) 指導者登録システムへの登録および登録料の納入

登録料：5,000円（別途、システム利用手数料が必要）

(2) 過去4年間の指導実績を提出

顕著な指導実績がなければ、指導者関連の研修会・会議等への出席内容を提出。  
指導及び研修実績ともになれば、トライアスロン指導に係る活動内容を提出。  
指導者登録システムの該当欄に入力する。

(3) 論文提出

題名・内容は、トライアスロンの指導に関することであれば自由。  
書式自由、1,200字～2,000字程度、WordまたはPDFファイル。  
指導者登録システムにてアップロードする。

(4) 手続き完了後、JTUが確認作業を行う。（約1週間）

(5) 指導者登録システムの「申込確認」から、各自で資格証（PDF）をダウンロードする。

有効期間：4年間（登録年度の4月1日～4年後の3月31日）

過去4年間に研修会を受講した場合は「資格移行の手引き」を参照。

以上

(公社) 日本トリアスロン連合 (JTU) 公認初級指導者  
＜資格再交付の手引き＞  
(初級指導者資格の有効期限が切れた方へ)

更新：2020年4月1日

1. 初級指導者資格の再交付を希望する際は、下記の必要事項を JTU 事務局及び指導者養成委員会（詳細はファイル「8」を参照）へ連絡する。

氏名

JTU 登録都道府県

JTU 登録番号

失効年月日（西暦） \_\_\_\_\_年3月31日

2. 登録有効期間：失効期間によって異なるため、詳細は問い合わせ時に通知する。
3. 再交付の手続き
  - (1) 指導者登録システムへの登録及び登録料の納入  
登録料：5,000円（別途、システム利用手数料が必要）
  - (2) 過去4年間の指導実績を提出  
顕著な指導実績がなければ、指導者関連の研修会・会議等への出席内容を提出。  
指導及び研修実績ともになれば、トリアスロン指導に係る活動内容を提出。  
前述①指導者登録システムの該当欄に入力する。
  - (3) 論文提出  
題名・内容は、トリアスロンの指導に関することであれば自由。  
書式自由、1,200字～2,000字程度、WordまたはPDFファイル。  
指導者登録システムにてアップロードする。
  - (4) 手続き完了後、JTU が確認作業を行う。（約1週間）
  - (5) 指導者登録システムの「申込確認」から、各自で資格証 (PDF) をダウンロードする。  
有効期間：4年間（登録年度の4月1日～4年後の3月31日）

過去4年間に研修会を受講した場合は「資格移行の手引き」を参照。

以上

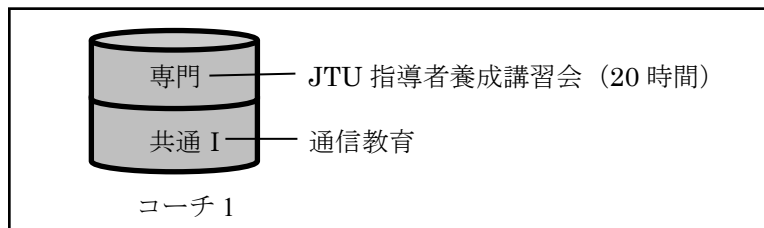
## 1. 日本スポーツ協会公認指導者資格概要

日本スポーツ協会（以下、JSPO）公認の指導者資格にはコーチ 1～4 などがあり、現在トライアスロンで認定されているのは「コーチ 1」資格である。

カリキュラムの詳細は [https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach\\_cul](https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#coach_cul) を参照。

## 2. JSPO 公認トライアスロンコーチ 1 概要

JSPO のコーチ 1 資格は「専門科目 20 時間以上」と「共通 I」の 2 つを受講する必要がある。専門科目は「専門」という名称の通り、各競技の専門的な講習を行う。例えば、水泳の場合は日本水泳連盟、陸上の場合は日本陸上競技連盟、そしてトライアスロンの場合は JTU が講習会を行う。JTU では指導者養成講習会にて 20 時間の講習を行っている。共通 I は「共通」という名称の通り、全競技共通の講習であり、水泳も、陸上も、トライアスロンも、講習内容は同じである。講習形式は座学ではなく、NHK 学園の通信教育を受講する。テキストを読み、課題を郵送で提出する。



資格は基本的には「JTU 指導者養成講習会→共通 I→JSPO トライアスロンコーチ 1」という順序で取得する。(例外あり。後述 4. を参照)

## 【共通 I 申込方法】

(1) JSPO の HP から「指導者マイページ」に登録する。

<http://www.japan-sports.or.jp/> (指導者マイページは誰でも登録可能)

(2) マイページにログイン後、「資格を取得する」→「養成講習会検索」→「トライアスロンコーチ 1」を検索して申し込みを行う。免除の実施は「する」を選択。共通科目は「免除しない」を選択。専門科目は「免除を行う」を選択し、資格名に「日本トライアスロン連合専門科目修了者」と記入して修了証を添付する。

(3) 申込期間は例年 4 月下旬～6 月末だが、正式な期間は JSPO の HP にて確認すること。

(4) 後日、共通 I のテキストが送られて来るので、学習開始。

## 3. 共通 I 受講料 19,800 円

コーチ 1 登録料 初回 23,000 円 (4 年間) / 更新 20,000 円 (4 年間)

## 4. 共通 I 受講免除規定

日本トライアスロン連合専門科目修了者が次の条件を満たす場合は、共通 I の受講が免除され、JSPO トライアスロンコーチ 1 に認定される。

[1]すでに公認スポーツ指導者資格（コーチングアシスタントなど）を保有している。

[2]免除適応コース修了証明書を保有している。

[3]その他関連資格を保有している。

詳細は <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx> を参照。

## 【共通 I 免除申請方法】

(1) JSPO 「指導者マイページ」に登録する。(前述参照)

(2) マイページにログイン後、「資格を取得する」→「免除免除申請」→「トライアスロンコーチ 1」を検索して申請を行う。共通科目の免除内容は、各自該当の項目を選択。JSPO 公認有資格者は添付書類不要。免除適応コース修了者は証明書類を添付する。コーチングアシスタントは「その他免除理由」を選択して証明書類を添付する。専門科目の免除対象資格名は「日本トライアスロン連合専門科目修了者」と記入して修了証を添付する。

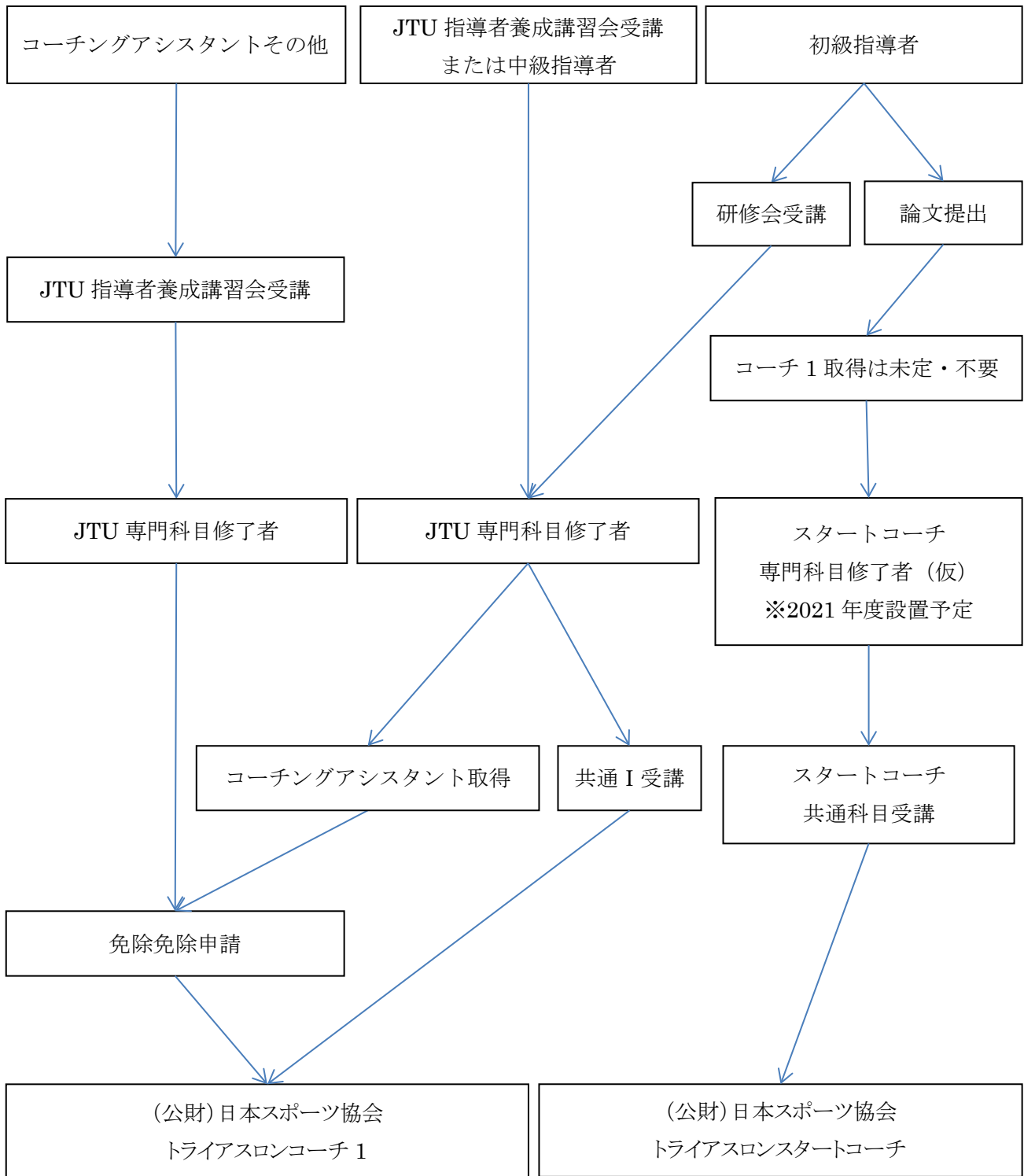
(3) 申請は随時可能だが、締め切りが年に 2 回ある。5 月末までに申請すると 10 月にコーチ 1 に認定され、11 月末までに申請すると翌年 4 月にコーチ 1 に認定される。

5. JTU 指導者養成講習会未受講者は、講習会を受講する前に JSPO コーチングアシスタントを取得しておく、効率的にコーチ 1 資格を取得することができる。コーチングアシスタントの詳細は <https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#ca> を参照。

以上

# 6

## 指導者資格取得手順



※「コーチングアシスタントその他」に該当するのは、下記のいずれかの者。

- ・すでに公認スポーツ指導者資格（コーチングアシスタントなど）を保有している。
- ・免除適応コース修了証明書を保有している。
- ・その他関連資格を保有している。

参考 <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx>

更新：2020年4月1日

## 1. 国体監督

- (1) 2013年から、国体の正式競技の監督は、日本スポーツ協会（以下、JSPO）の指導者資格保有が義務となった
- (2) 2016年から、トライアスロンは正式競技となった。

従って、2016年以降はJSPOの指導者資格を持っていないとトライアスロン競技の監督には就任できない。

- (3) 対象となるのはコーチ1～4、教師、上級教師の6資格。
- (4) どの資格を保有義務とするかは、各競技の中央競技団体（トライアスロンの場合はJTU）が決定する。
- (5) 2020年現在、トライアスロンの指導者資格で認定されているのは「コーチ1」のみ。

従って、現状では「JSPO トライアスロンコーチ1」の資格を保有していれば、国体の監督に就任する条件を満たす。なお、2020年の鹿児島国体については、2020年4月1日までにコーチ1の登録を済ませる必要がある。

## 2. JSPO スタートコーチ

## 【初級指導者資格の名称変更と段階的廃止】

2019年度からJSPOの指導者資格に「スタートコーチ」（共通科目15時間＋専門科目4時間以上）が新設された。「初級を保有しているが、コーチ1は取得未定または不要」という指導者については、スタートコーチの資格が取得できるように制度を改定する。

- ・「初級指導者」の名称を「スタートコーチ専門科目修了者（仮）」に変更する。
- ・修了証は指導者登録システムにてPDFをダウンロード。発行時はシステム利用手数料が必要。
- ・更新はなし。但し、指導者登録システムの稼働が年度毎のため、登録の翌年度以降に修了証の再発行（ダウンロード）が必要な場合は、再度システム利用手数料を負担すること。
- ・スタートコーチ専門科目修了者（仮）が日本トライアスロン連合専門科目修了者に移行を希望する場合は、JTUに相談する。初級18時間修了者に限り、研修会（3時間以上）を受講することで、これを認める。

初級指導者養成講習会の最終開催は2019年度。また、2020年度に更新する初級保有者もいるため、最終の有効期間は「2020年4月1日～2024年3月31日」となる。これに合わせて2021年度から段階的に対応を進め、2024年度以降は「スタートコーチ専門科目修了者（仮）」に統一する。

| 年度     | 対象者                          | 発行修了証（または資格証）     | 有効期限          |
|--------|------------------------------|-------------------|---------------|
| 2020年度 | 2019年度講習会受講者および<br>2020年度更新者 | 初級指導者             | 2024年3月31日(※) |
| 2021年度 | 2021年度更新者                    | スタートコーチ専門科目修了者（仮） | なし            |
| 2022年度 | 2022年度更新者                    | スタートコーチ専門科目修了者（仮） | なし            |
| 2023年度 | 2023年度更新者                    | スタートコーチ専門科目修了者（仮） | なし            |
| 2024年度 | 2024年度更新者（※が該当）              | スタートコーチ専門科目修了者（仮） | なし            |

（2024年3月31日をもって、初級指導者資格は廃止）

以上



## (公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 指導者資格に係る問い合わせ先など

### 1. メールの送信先

(1) JTU 指導者養成委員会 (担当: 矢野委員長)

メール: [stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp](mailto:stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp)

(2) JTU 事務局

メール: [jtuoffice01@jtu.or.jp](mailto:jtuoffice01@jtu.or.jp)

### \*メール送信時の基準

- ・上記に同報送信する。
- ・「件名」は次のように明記する。  
例. 「初級指導者資格・再交付申請」など

### 2. 指導者登録システムと支払い方法

(1) 登録料は指導者登録システムに登録の上、選択した支払い方法にて入金する。

(2) 指導者登録システムの URL は別途案内する。

(3) 支払方法

- ・コンビニ払い
- ・ペイジー対応のインターネットバンキング、ATM
- ・クレジットカード

### 3. 公益社団法人 日本トライアスロン連合 (JTU) 所在地

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 708

メール: [jtuoffice01@jtu.or.jp](mailto:jtuoffice01@jtu.or.jp)

ウェブサイト: <http://www.jtu.or.jp/>

以上